kosei
生かされ、生きるチカラ。

見方を変えると、心にあたたかな思いが広がりました。

豊田教会　高野友里江さん

高野友里江さんは長年、夫に対するわだかまりを胸のうちに抱えて生きてきた。夫は、酒が好きで、同僚を家に連れてきてはひと晩中酒盛りをし、そのことに文句を言うとすぐに手を上げた。子育てにも協力してくれず、休日は競馬に興じていたからだ。70歳になり、夫婦二人の生活を真剣に考えるようになるものの、答えの出ない問いをめぐらせていると、暗闇の中をさまよっているような、深い孤独感に陥るのだった。しかし、そんな思いを抱いていたとき、ものの見方、受けとめ方を学ぶ研修で、相手の素晴らしい面を見つけ、心に寄り添うことを学んだ。振り返れば、夫は我慢強く、他人の悪口を言わない。最近は家族のために栄養バランスを考えた料理も作ってくれるようになった夫が心から愛おしく思えてきたのだった。その気づきを得た友里江さんは、今度は自分が人さまにあたたかな心でふれあっていくことを目標にしている。

未熟を自覚する

私たちは、世の中のことをいろいろ知っていると思っています。しかし、私たちが知っているのは、無限ともいえるこの世界のごくわずかなことにすぎません。しかも、いまだ解明されていないことは、もちろんだれも知り得ません。つまり、私たちは無量無辺ともいえる宇宙のなかの、ほんの一点にも満たないことしかわかっていないのです。

無量義経に「愚痴多き者には智慧の心を起さしめ」という一節があります。「愚痴」とは、未熟なために自分の見識や欲望にとらわれる愚かさのことですが、それが「智慧の心」によって無限の可能性を開く扉になるというのです。

未熟さや愚かさは、それを自覚すれば、いつでも向上のきっかけになります。ところが、「わかっている」という思い上がり・憍慢によって、私たちはみずから向上の芽を摘んでしまいがちなのです。

そうならないための「智慧の心」とは何かといえば、それは「生かされている」という人間としての本然の気づきだと思います。それをとおして謙虚に、素直になるとき、あらゆる可能性の扉が開かれるのです。

立正佼成会
www.kosei-kai.or.jp Eメール：info@kosei-kai.or.jp　〒166-8537 東京都杉並区和田2丁目11番1号　TEL.03-5341-1615